



# 地域医療連携室だより

Community Healthy Network News

## 共に診る・共に支える地域医療



### 血液内科って何を診ているんですか？

平鹿総合病院 副院長 久米正晃

この春から副院長を拝命致しました久米正晃です。旧第二内科時代の平成17年4月から血液内科医として勤務しております。地域医療連携室及び近隣医療機関には日頃から患者さんのご紹介や逆紹介で大変お世話になっております。

“病診”に加えて介護・福祉施設、地域住民が連携で重要であると考えますが、病診以外の皆さんには“血液内科”は馴染みが薄いと思われるので当科の診療をごく簡単にご紹介致します。

どこの臓器・どんな疾患を診る内科？と思われるでしょうが、かの『赤い疑惑』（ご存知無い？）で有名な白血病を診る科です。主な対象疾患は白血病のほか青島都知事が罹患した悪性リンパ腫や俳優の佐野史郎さんが罹患した多発性骨髄腫などが有ります。血液細胞を造る骨髄という“臓器”の腫瘍性疾患の診療に当たっています。

治療は抗癌剤治療がメインとなりますが分子標的治療薬や最近では二重特異性抗体による治療にも取り組み、造血幹細胞移植やCAR-T細胞療法といった高度で先端的な治療も秋田大学医学部附属病院と連携しながら行っております。

原因がはっきりしない貧血や血小板や白血球の異常、リンパ節腫脹を見かけたら当科へご相談頂ければ幸いです。

### もくじ

血液内科って何を診ているんですか？	①
連携医療機関・介護福祉施設のご紹介	②
当院の診療科のご紹介	③
インフォメーション	④



# 連携医療機関・介護福祉施設のご紹介

## 在宅オンライン医療センター設立について



細谷内科医院 副院長

細谷 拓真



平鹿総合病院の先生方、スタッフの皆様、日頃より大変お世話になっております。この度、当院では、医療過疎地域における在宅医療の普及と質の向上を目指し、在宅オンライン医療センターの設立を計画しております。これにより、市内全域において、最後まで自宅で過ごしたいという患者さんのご希望に応えることが可能になります。実際に、平鹿総合病院から当院へ引き継ぎ、お看取りまで対応させていただいた症例もございました。また、心不全パンデミックが進行している今、再入院率の低減が重要な課題となっております。地域医療を支えるためには、開業医と地域基幹病院である皆様とのオンライン連携をさらに強化していくことが不可欠です。この連携により、迅速な情報共有や患者様への対応が可能となり、より質の高い医療サービスを提供できるものと考えております。今後とも、平鹿総合病院の皆様と連携を深め、地域医療の向上に寄与できればと考えております。この取り組みを今後ぜひご検討いただき、より一層の病診連携を進めていければと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## ～住み慣れた地域で安心した生活を～



特別養護老人ホームさくら  
施設長

大山 育子



横手福祉会は、平成22年に特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービスを、平成25年に特定施設・居宅介護支援事業所を開設し早いもので10年以上が経過しました。

さくら3つの魅力「やさしさ」「くらしやすさ」「あなたらしさ」を大切にしながら、住み慣れた地域で楽しく笑顔で暮らせるよう職員一同利用者様の支援にあたっております。また、地域の集いの場である「さくらカフェ」を開催しており、毎回楽しみに集まってくださる方々も多く、大変嬉しく思っております。

さて、今年度の介護報酬改定では医療機関との連携体制構築が促され、2027年からは義務付けとなります。その様な中、協力医療機関である平鹿総合病院様にはご尽力いただき、いち早く体制を構築することができました。現在、地域医療連携室の皆様には窓口として特養および特定施設入居者様の情報共有にご協力いただいております。お互いに顔の見える関係性を築けていることは、入居者・ご家族様の安心にも繋がり、私たち職員にとっても心強い限りです。当法人は今後も地域に根ざし、皆様のお力になれるよう精いっぱい努めてまいりますので今後ともご協力、ご支援の程よろしくお願い致します。



# 当院の診療科のご紹介

## 整形外科 ～変形性膝関節症と人工関節置換術～



平鹿総合病院 副院長  
日本専門医機構認定  
整形外科専門医  
日本人工関節学会認定医  
小林 志

当院の整形外科は4人の専門医で診療を担当していますが、各々の専門分野が少しずつ異なるため、整形外科疾患全般をカバーしています。

整形外科疾患の中で頻度の高い、膝に関しての情報提供をします。

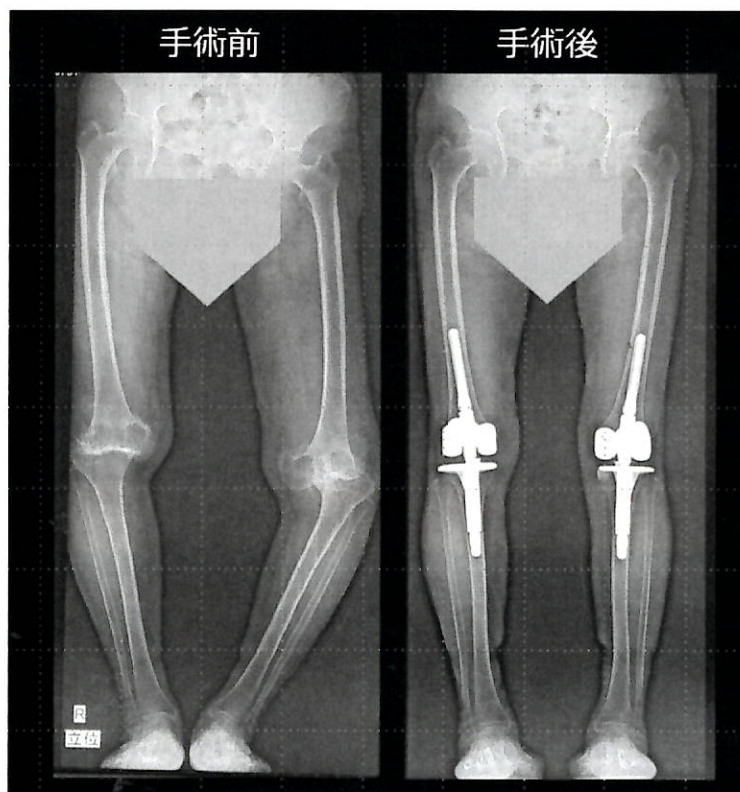
加齢により関節は少なからず擦り減りますが、画像検査で摩耗が確認できる状態を変形性関節症といいます。一般的に荷重がかかる膝は発生率が高く、60歳以上では半数以上で見られます。

変形性膝関節症の初期治療は、運動や減量の有効性が示されています。一方で、鍼灸治療やサプリメントによる有効性は証明されていません。

変形性膝関節症が進行した場合、ヒアルロン酸の関節内の注射や、手術治療が推奨され、その有効性が示されています。手術治療のうち、傷んだ関節の表面をインプラントに置換する人工関節置換術は、下肢全体の变形も改善させる効果があります(図)。

人工関節置換術は下肢では股関節、足関節でも行われ、その治療成績は安定しています。

われわれ整形外科医は、患者さんの身体の痛みを改善させ、機能を回復させ得る専門家と自負しています。四肢、体幹、関節の痛みや身体機能の不具合に対しての解決案を提案できると思いますので、ぜひご相談ください。





4月から

地域医療  
連携室

医療福祉  
相談室

入退院  
支援センター

**が同室になりました!**

私たちは地域医療機関や院内外の多職種との連携を円滑に図り、地域の皆様が適切な時期に適切な医療機関で治療を継続できるよう、また安心して入院生活や退院後の療養生活を送れるよう、それぞれの資格を活かしながら協働で支援を行っています。

3部署が同室になったことで、患者さん・ご家族が抱える課題をより速やかに共有し、細やかな相談ができるようになりました。これからも地域の皆様が住み慣れた地域でご自身の想いを大切にしながら、自分らしい生活を過ごせるよう支援させていただきます。

いつでも遠慮なくご相談ください。



## 地域医療連携室スタッフ

室長 榎本 好恭  
医事課長 佐藤 紀子  
看護主任 大沢 知佳  
事務 佐藤 滉  
三原 妃葉

## 平鹿総合病院

〒013-8610 秋田県横手市前郷字ハツ口3番1  
代表 TEL:0182-32-5121 FAX:0182-33-3200  
URL : <http://www.hiraka-hp.yokote.akita.jp/>

## 地域医療連携室

\*月曜日～金曜日(土日祝日除く) 8:30～17:00  
時間外は救急センターへご連絡をお願いいたします。  
直通TEL:0182-45-6012 専用FAX:0182-32-0698  
E-mail : [tiiren@hiraka-hp.yokote.akita.jp](mailto:tiiren@hiraka-hp.yokote.akita.jp)